信州共生みらい

アイディアコンテスト 2019

募集中

福祉×○○○ 若者からの提案

- 超高齢化<mark>社会が到来し、</mark>福祉・介護産業の重要性はますます高まっており、その市場は成長を続けています。
- 増え続けるニーズに応えていくため、AI、ITC、IOT、Society5.0 などの活用や、農林業、デザイン、観光など異業種・異分野とのコラボにより、信州から福祉・介護分野のイノベーションを進めていくことが期待されます。
- そこで、様々な分野で学ぶ学生の皆さんから、各専門分野の知識を活かして福祉・介護の課題解 決や困りごとを解決する、信州発の技術やサービス、アイディアを募集します。

募集内容 福祉 ×○○○のコラボにより、福祉・介護の課題解決やイノベーションを進める、信州らし

い技術、サービス、ビジネス・モデル、政策アイディア等

応募対象 高校、専門学校、高等専門学校、大学、短期大学等の学生チーム

スケジュール

オリエンテーション

- ■5月初旬~中旬
- ■協力各校で、説 明会を行います。
- ■内 容 福祉・介護現場の 課題、悩みごとを 現場職員から説明 し、各チームで テーマを選択。

チーム検討

- ■期間5月~8月
- ■ナビゲーター各チームの選択テーマにあわせた現場ナビゲーターを配置。

必要に応じて現場 見学等を調整しま す。

応募締切、審査

- ■応募締切8月5日(月)
- ■第1次審査 書類審査
- ■第2次審査 プレゼンテーション 期日 8月下旬 会場 長野県立図書館

(長野市内、予定)

県社会福祉大会

- ■9月20日(金) 駒ヶ根市文化センター
- ■プレゼンテーション 優秀 3 チーム
- ■表彰式 長野県教育委員会表彰 長野県社協会長表彰 長野県社福経営者協会長表彰 他、企業賞予定

応募いただいたアイディアは、福祉介護PR事業企画委員会の協議をふまえて、活用方法を検討します。

>

応募方法等 裏面参照

○ 実施主体 長野県

申込締切

○ 運 営 長野県社会福祉協議会

○ 協 カ 信州大学教育学部、国立高等専門学校長野工業高等専門学校 岡学園トータルデザインアカデミー 長野県社会福祉法人経営者協議会

6月10日(月)別紙「エントリーシート」による

コンテスト事務局

長野県社会福祉協議会/企画グループ内 © 026-228-4244 fax 026-228-0130 E-Mail kikaku@nsyakyo.or.jp

信州共生みらい アイディアコンテスト 2019 応募方法

◆ 応募方法

- (1) オリエンテーション …… 協力各校ごとに、5月上旬~中旬にかけて説明会を実施
- (2) エントリー締切 ……… 6月10日(月) 別紙「エントリーシート」による。
- (3) ナビゲーター ……… 各チームの選択テーマにあわせて福祉・介護現場に詳しいナビゲーターを派遣します。また、必要に応じて現場見学等の実施を支援、調整します。
- ◆ 作品の作成と提出
- (1) 作品の作成 ·········· 作品は、PowerPoint で作成したプレゼンテーション資料とし、PowerPoint のページ 数は 20 ページ以内、ファイルの容量は 10MB 以下としてください。

詳しくは、別紙「作成要領」を参照してください。

(2) 提出期限8月5日 (月) までにコンテスト事務局に提出してください。

◆ 審 査

- (1) 審查基準
 - ① 福祉・介護の当事者や現場のニーズを十分に捉えているか
 - ② 効果的な課題解決や新しい発想、信州らしさなど、特色ある提案となっているか
 - ③ 提案の妥当性について、実験やヒヤリング調査など、妥当性を検証しているか
 - ④ 概ね5~10年後を想定して、実現可能な技術やサービス、ビジネスモデル、政策アイディアとなっているか
- (2) 審査員
 - 長野県社会福祉協議会役員
 - 長野県社会福祉法人経営者協議会役員
 - 社会教育関係者
 - 長野県在宅福祉機器協議会関係者(事務局:株式会社デンセン)
 - 福祉を考える企業の会(駒ケ根市)関係者(予定)
 - ○他、IT系企業交渉中
- (3) 審查方法
 - ① 第1次審査 ………書類審査を行い、10作品を選考する予定です。
 - ② 第2次審査 ………第1次審査で選考された作品を対象に審査会を実施します。 1チーム10分以内でプレゼンテーションを行ってください。

期 日 8月下旬

会場 県立長野図書館3階「信州・学び創造ラボ」(長野市若里 1-1-4)

(4) 賞

- ① 長野県教育委員会賞
- ② 長野県社会福祉協議会会長表彰
- ③ 長野県社会福祉法人経営者協議会会長表彰
- 企業賞

長野県在宅福祉機器協議会賞 他交渉中

- (5) 長野県社会福祉大会
 - ① 期日等 ………9月20日 (金)、駒ヶ根市文化センター

 - ③ 応募作品展示 ………応募作品を印刷して展示します

◆ 応募作品の活用

- ① 応募作品の著作権は、応募チームに帰属します。 長野県社会福祉協議会は、応募作品をホームページで公表するなど、事業の趣旨に沿って活用できるものとします。
- ② 優秀作品については、福祉介護PR事業企画会議において、プロトタイプの開発やアイディアの試行などを検討し、次年度以降の事業に活かしていきます。
- ③ 応募作品及びチーム検討の過程も含めて、福祉介護人材PR事業の一環として取材し、広報に活用する場合があります。 応募者のお名前を公表させていただく場合がありますので、ご了承ください。

コンテスト事務局

長野県社会福祉協議会/企画グループ内 の 026-228-4244 fax 026-228-0130 E-Mail kikaku@nsyakyo.or.jp

福祉・介護の解決したい課題(例示)

※ 例示をもとに検討課題を決め、ナビゲーターと意見交換を 行いながら、具体的なテーマとして絞り込んでください。

A 福祉当事者ニーズの解決	
A-01	(マジックハンドが欲しい)
	車いす利用者などが、落としてしまったもの、高くて手が届かない時、手軽に携帯して 使えるマジックハンドがあれば喜ばれます。市販のマジックハンドはかさばりすぎて、携
	帯しにくいので、折りたたんで携帯し、必要な時に取り出せるものが欲しいです。
A-02	(車いすのタイヤを拭くのが大変)
7. 02	福祉施設の玄関には、畳一畳程度の車いすのタイヤ拭き装置が置かれている場合があ
	ります。もっとコンパクトで、手軽に車いすのタイヤをふくことができる器具が求められ
	ています。
A-03	(視覚障害者方のメイク支援)
	視覚障害者の方は、外出が苦手。特に女性は、自分でメイクを(確認)することが苦手。 担党障害の大いば、鬼がしなみな悪なるとはなるができないない
	視覚障害の方々が、身だしなみを整える仕組みが求められています。
A-04	(駅のプラットフォームからの転落防止策)
	年間 4,000 人の視覚障害者が線路に落ちる事故があり、多くの場合救出されていますが、 在際な場合では、 大阪な場合では、 大阪な場合では広ばり、 のまりませば、 コストの課題がまり
	が、危険な状況です。ホームドアは都会では広がりつつありますが、コストの課題があります。センサーで危険を知らせるなど、長野でも実現可能な、転落防止策が望まれます。
	まり。ピンリー(厄厥を知りせるなこ、大野(も美苑可能な、転格的正泉が呈まれまり。 (視覚障がい者のための墨字資料呼び上げシステム)
A-05	(祝見障かいものにめの童子貞科呼びエリシステム) 視覚障がい者が社会参加するうえで、会議等で配布された資料が読めないことが大き
	依見障がいるが任去参加するうんで、去議寺で配加された賃付が記めないことが入さしな課題です。点字資料やデータ配布などの方法もありますが、なかなか一般化していませ
	な味感です。点子負付く/
	70。 テルツ聖子員相で、ステッとOORラット 寺を風が目がせて配め上げることはてきな いでしょうか?
	(芸術文化活動の拠点づくり)
A-06	でがいのある人たちの芸術文化活動は、デザインとして価値や、アール・ブリュットな
	ど現代アートの視点から注目されており、県内でも、障がいをてことして個性あふれる作
	品を生み出す「作家」を発掘する営みが続いています。
	長野パラリンピックの歴史をふまえ、障がいのある人たちの芸術文化活動の拠点づく
	りについて提案してください。

福祉・介護職場のイノベーション (持ち物チェックの仕組み) B -01 ショートステイなどでは、入所時に入居者の持ち物を確認し退所時に過不足なくある かどうか確認する業務に時間がかかります。退所時の持ち物紛失トラブルも少なくあり ません。この持ち物チェックの効率化や確実な管理について技術やアイディアを提案し てください。 (身長や体重の測り方) B -02 高齢者の健康管理の指標において、身長、体重から痩せすぎ、肥満等を割り出しているが、 背中が丸まってしまった方や寝たきりで体が拘縮してしまった方の正確な身長測定が困難で す。体重は各種体重計が存在するが、身長の測り方が難しく、現在は、メジャーを使った5点 測定法で図りますが、やるたびに大きな実測値の違いが出て、不正確で困っています。 (利用者の見守りの仕組みやシステム) B -03 現在もセンサーマットやカメラ、ロボット等で利用者の見守りをする仕組みはあるが、対 応についてはスタッフが対応しているのが現状。特に夜間は1人で20名以上の利用者をみて

いるため、同時の対応が困難。 今までにない新しいかたちで利用者の見守りの仕組みやシステムのアイディアの提案を期 待します。 (とろみの付き具合が測定できるアイディア) B -04 ・誤嚥予防として、水分のとろみを使用しているが、3段階で使用していることが多い 薄いとろみ さらさら コップで飲める程度 ふつうのとろみ とろとろ はちみつ状 濃いとろみ ぽたぽた ヨーグルト状 基準があいまいで、使用するとろみ材や水分の内容によって固まり方が違うため、うまく つくることが難しい。また、感覚は個人差がありとろみの付き具合に差ができてしまう。 簡単にとろみの付き具合を3~5段階位で測定できるアイディアを提案してください。 (食事介助用のエプロンデザイン) B -05 嚥下障害や機能障害等でたべこぼしをしてしまう方は食事介助用のエプロンを使用してい るが、いかにも介護用のデザインであり、外食等で使用する際に使いたくないという方がい ます。 洋服のデザインと違和感のない食事介助用のエプロンデザインの提案してください。 (濃い色の衣類へ記名できるアイディアの提案) B-06 施設では利用者様の衣類を管理するために記名しますが、男性が好む紺や黒の衣類に記名 するときには白い布を縫い付けたりしていますが、その作業が大変です。アイロンで張り付 ける名札もありますが、施設の洗濯機で洗濯すると、すぐに剥がれてしまいます。

濃い色の衣類に記名できるアイディアを提案してください。

C 福祉と地域づくり

C-01 (地域交通の課題)

中山間地では、公共交通機関が衰退し、年をとっても免許を返納してしまえば生活できない状況があります。また、中高生などは、通学や土日の買い物などに車に乗れないと生活できない状況に陥っています

中山間地で、日々、車で近隣の市街地まで通勤している人たちが、ボランティアとして協力してくれることを想定して、移動の助け合いの仕組みを提案してください。

C-02 (買い物難民対策)

中山間地では日常生活品を販売する商店が衰退しており、都市部においても郊外の大型ショッピングモールが増える中で、高齢者、障がい者等の「買い物難民」が課題となっています。

日々、車でスーパー等に通っている近隣住民が、買い物支援ボランティアを行う意志があることを想定して、無理なく続けられる買い物助け合いの仕組みを提案してください。

C-03 (ユニバーサルツーリズム)

観光立県信州では、今、高齢者や障がいのある人、外国人や子ども連れなど誰もが楽しめるユニバーサルツーリズムの推進に力を入れています。

車いすやベビーカーの人が、信州の山や自然を楽しめるような、観光コースづくりや機器の提案、バリアを補う住民参加の仕組みについて、提案してください。

C-04 (農山村の景観改善)

アレックス・カー氏は著書「日本風景論」のなかで、日本の山村の景観を称賛しつつ、 その景観を台無しにする日本人の意識の低さを批判しています。(例、電線やブルーシートが美しい田園風景を壊している…など)

農山村の魅力を磨き、未来に向けて持続可能な地域づくりにつなげるため、農山村の景観改善策を提言してください。